

2025年8月の 出来事

8月10日（日）



日本のカトリック教会は毎年、8月6日から15日を「カトリック平和旬間」と定め、様々な平和への取り組みを行っています。私たちのカトリック津教会ではドキュメンタリー映画「放射能を浴びた X 年後 I」の上映会を開催し、約40の方が参加しました。今年は第二次世界大戦終戦80周年を迎え、長崎の原爆祈念式典では「長崎を最後の被爆地に！」という声が多数聞かれました。しかし、実は「長崎」はもうすでに最後の被爆地ではなくなっているのです。1950年代アメリカは太平洋のビキニ環礁で大規模な水爆実験を繰り返しました。そこでは多くの日本の漁船が操業しており、たくさんの漁師たちが被爆しました。しかし、その事実はほとんど知られていません。この映画「放射能を浴びた X 年後 I」は被爆した漁師たちのその後を追ひ、多くの方達がガンなどで亡くなっていること、アメリカから日本への金銭供与によりその事実が隠蔽されていったことなどを描きだしています。

上映会の参加者からは「このような事実は知らなかった。もっと多くの人に知ってほしい」という声が多く寄せられました。